



新年度を迎えて

校長 泉崎 春海

校庭の花壇には花が美しく咲きそろい、新学期を祝っているようです。そのような中、約2週間ぶりに子供たちが登校してきました。久しぶりに聞く子供たちの「おはようございます」という元気なあいさつや笑顔には、新たなやる気が感じられます。

小竹小学校では、かわいらしい40名の新1年生を迎え、児童数245名、10学級で平成26年度の新たな一步を踏み出しました。新年度を迎え、どの子供たちも新しい学年に対する期待や希望、抱負、また少々の不安を抱き、入学式、始業式を迎えたことと思います。子供たちが生き生きと楽しい学校生活を送れるよう、教職員一同、力を合わせて教育活動を進めてまいります。子供たちたちの健やかな成長のために、今年度も、保護者、地域の皆様との連携をなお一層深め、よりよい教育活動を行ってまいりたいと思います。

ご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

今年度の小竹小学校の教育目標は次の通りです。

共に生きる子ども

かしこく

やさしく

たくましく

この教育目標の達成に向けて、次のことに重点を置き、教育活動を進めていきます。

1つめは、「学力の向上」です。1時間1時間の授業を大切にして、子供たちに、基礎基本となる力を確実に付けていきます。また、子供たちが、授業を通して、学ぶ楽しさや達成感を実感できるように、指導の工夫を行っていきます。

2つめは、「互いに認め合い、支え合い、励まし合える人間関係の育成」です。子供たちが、自分や他の人のよさを認め、思いやりの気持ちをもつことができるようにしていきたいと思います。よりよい人間関係をつくるために、あいさつが大切です。今年度も引き続き、あいさつを大切にしていき、「おはようございます」「こんにちは」「ありがとう」「ごめんなさい」などのあいさつを日常的に気持ちよく交わし、豊かな人間関係の基盤としていきたいと思います。

3つめは、「体力の向上」です。今、子供たちの体力低下が社会的な問題となっています。休み時間には、子供たちが、元気に体を動かし、楽しく遊ぶ中で、様々な運動経験を増やせるようにさせたいと思います。また、体育科の授業について研修を行い、子供たちが運動の楽しさを実感しながら、体力を向上させていけるように指導の充実を図ってまいりたいと思います。